

Dell Latitude 7200 2-in-1

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: PC のセット アップ	5
章 2: Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
章 3: シャーシの図	8
キーボードのショートカット.....	11
章 4: 技術仕様	13
システム情報.....	13
プロセッサ.....	14
メモリ.....	14
ストレージ.....	14
システム基板のコネクタ.....	15
メディアカードリーダー.....	15
オーディオ.....	15
ビデオカード.....	16
カメラ.....	16
ポートとコネクタ.....	16
ワイヤレス.....	17
ディスプレイ.....	17
キーボード.....	18
タッチパッド.....	18
オペレーティングシステム.....	18
バッテリー.....	18
電源アダプタ.....	19
寸法と重量.....	20
コンピュータ環境.....	20
セキュリティ.....	20
セキュリティ ソフトウェア.....	21
章 5: ソフトウェア	22
Windows ドライバのダウンロード.....	22
章 6: セットアップユーティリティ	23
BIOS の概要.....	23
BIOS セットアッププログラムの起動.....	23
ナビゲーションキー.....	23
ワン タイム ブート メニュー.....	24
キーボードを使用しない BIOS 設定.....	24
セットアップユーティリティのオプション.....	24
一般オプション.....	24
システム設定.....	25
ビデオ画面のオプション.....	27
セキュリティ.....	27

Secure Boot (安全起動)	29
インテルソフトウェア ガード エクステンションズのオプション	29
パフォーマンス.....	30
電源管理.....	30
POST 動作.....	31
Virtualization Support (仮想化サポート)	32
ワイヤレスオプション.....	32
メンテナンス.....	33
システムログ.....	33
SupportAssist システムの解決策.....	33
BIOS のアップデート.....	34
Windows での BIOS のアップデート.....	34
Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート.....	34
Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート.....	34
F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のアップデート.....	35
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	36
システム セットアップパスワードの割り当て.....	36
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	36
BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア	37
章 7: ヘルプ.....	38
デルへのお問い合わせ.....	38

PC のセットアップ

手順

1. 電源アダプターを接続して、電源ボタンを押します。
2. オペレーティングシステムのセットアップを終了します。

Windows の場合：

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。セキュアなワイヤレス ネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレス ネットワーク アクセス用のパスワードを入力してください
 - インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
 - Support and Protection **サポートおよび保護**の画面で、連絡先の詳細を入力します。
3. Windows スタートメニューからデルのアプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. デルのアプリを見つける

デル アプリ	詳細
	<p>Dell 製品の登録</p> <p>デルに、お使いの PC を登録します。</p>
	<p>デルのヘルプとサポート</p> <p>PC のヘルプとサポートにアクセスします。</p>
	<p>SupportAssist</p> <p>PC のハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。</p> <p>SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell Update</p> <p>重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いの PC を更新します。</p>
	<p>Dell Digital Delivery</p> <p>さまざまなソフトウェア アプリケーション（購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど）を、お使いの PC にダウンロードします。</p>

4. Windows 用の回復ドライブを作成します。Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、回復ドライブを作成することが推奨されています。
詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

前提条件

- メモ:** このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。
- メモ:** 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

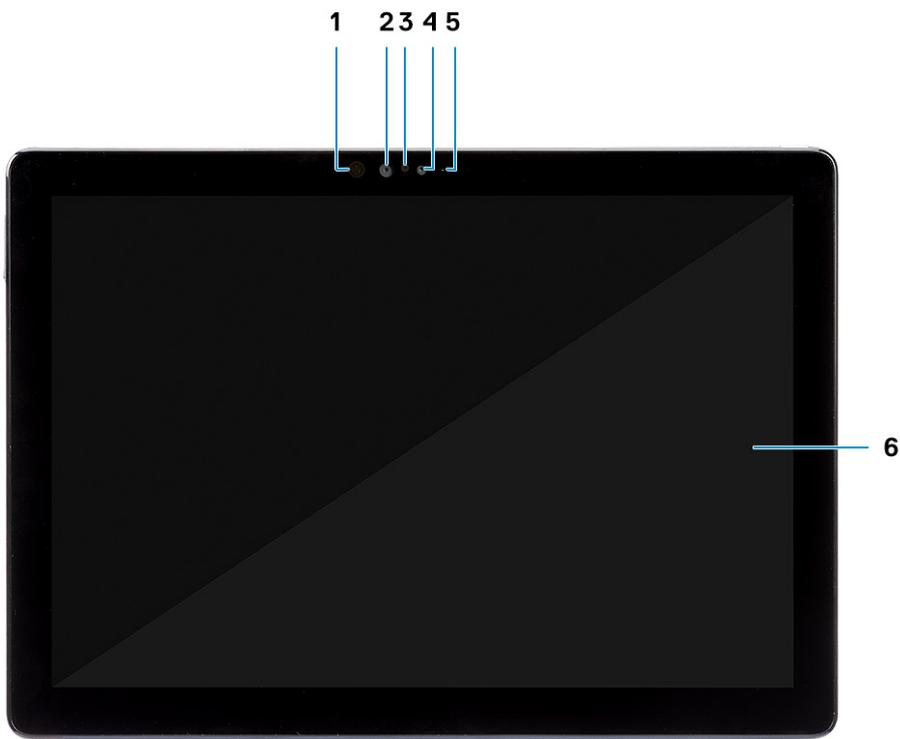
手順

- お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
- Windows サーチに **回復** と入力します。
- 検索結果で、[**回復ドライブの作成**] をクリックします。
[**ユーザーアカウント制御**] ウィンドウが表示されます。
- [**はい**] をクリックして続行します。
[**回復ドライブ**] ウィンドウが表示されます。
- [**システムファイルを回復ドライブにバックアップします**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
- [**USB フラッシュドライブ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
- [**作成**] をクリックします。
- [**完了**] をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『**サービス マニュアル**』で、「**トラブルシューティング**」の項を参照してください。

シャーシの図

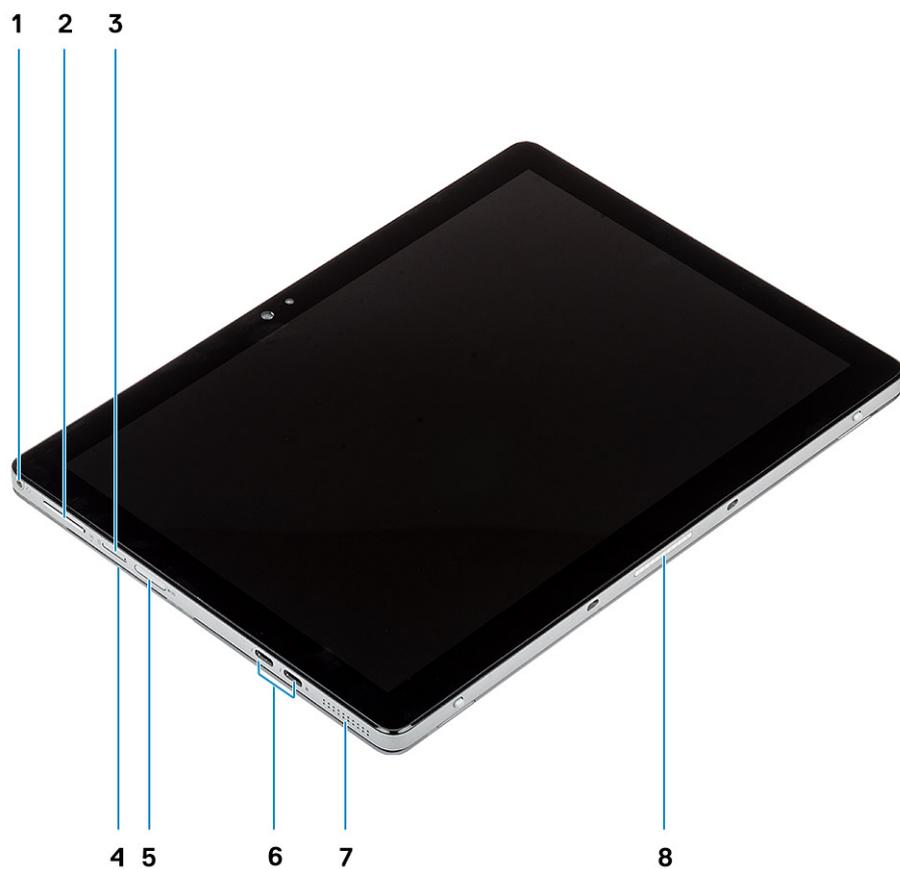
シャーシの図には標準コンポーネントのみが表示され、すべてのオプションのコンポーネントが表示されない場合があります。

正面図



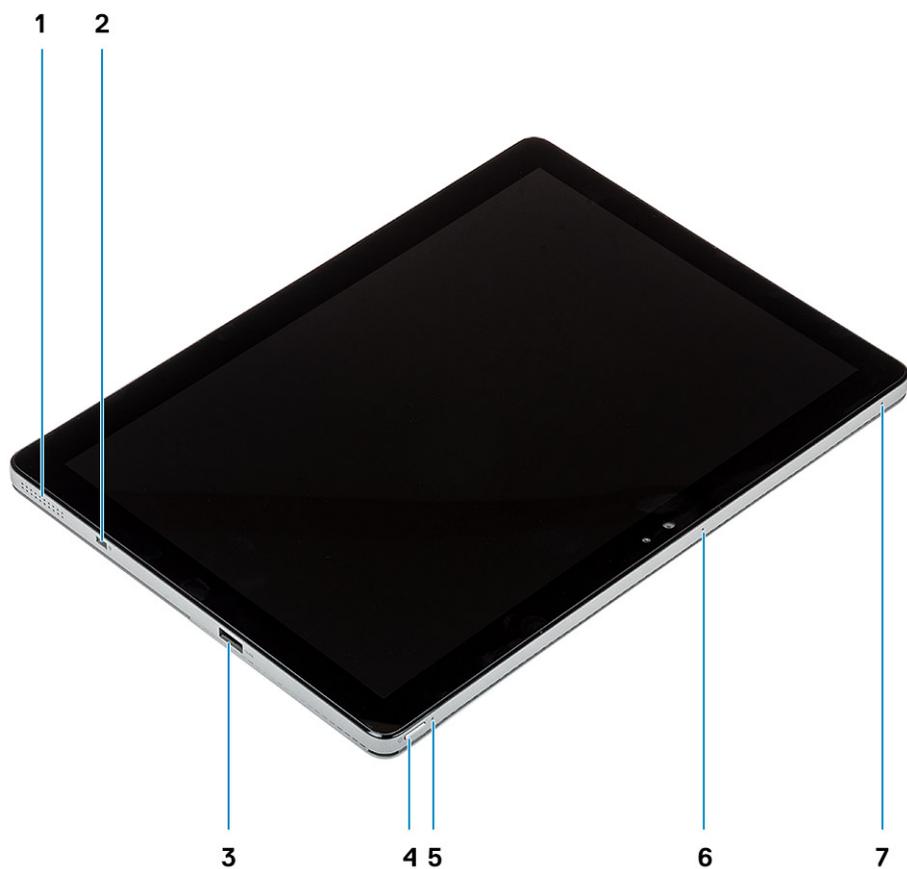
- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. IR エミッタ | 2. IR カメラ |
| 3. 周囲照明センサー | 4. 前面カメラ |
| 5. 前面/背面カメラ ステータス ライト | 6. LCD ディスプレイ |

側面図



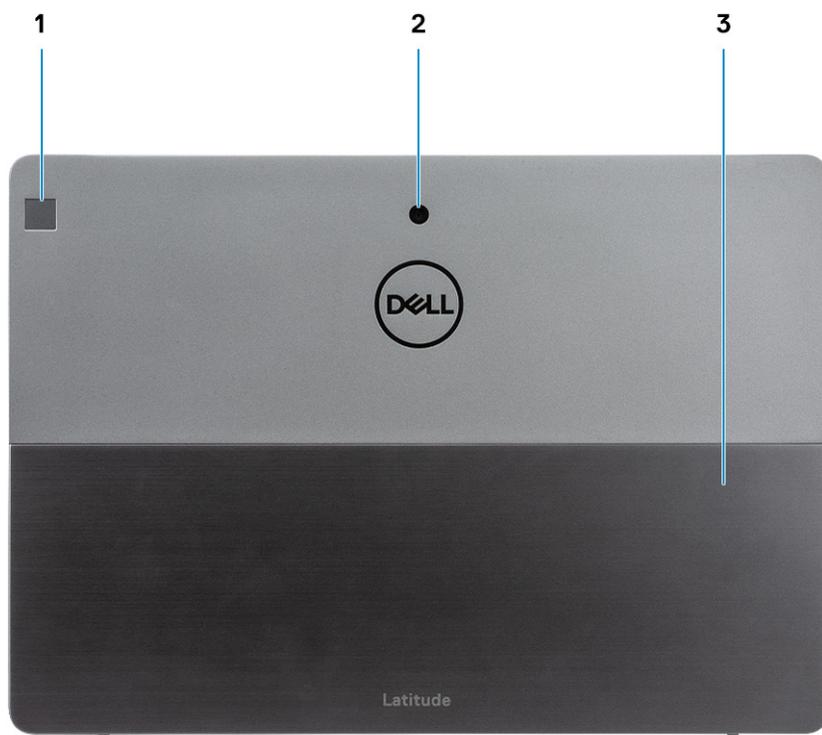
- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. ヘッドセット / マイクコンボジャック | 2. ボリューム アップ/ダウン ボタン |
| 3. Nano SIM カード スロット (オプション) | 4. スマート カード リーダー (オプション) |
| 5. microSD カードスロット | 6. USB Type-C (Thunderbolt 3/Power Delivery/DisplayPort 対応) |
| 7. スピーカー | 8. ポゴピン |

右側面図



- | | |
|---|------------------------|
| 1. スピーカー | 2. Noble Wedge ロックスロット |
| 3. USB Type-A 3.1 Gen 1 (PowerShare 対応) | 4. 電源ボタン |
| 5. バッテリー充電 LED | 6. マイク |
| 7. マイク | |

底面図



1. タッチ式指紋リーダー（オプション）
2. 背面カメラ
3. キックスタンド

トピック：

- キーボードのショートカット

キーボードのショートカット

メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定に対して同様です。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作（Fn+キー）
Fn+Esc	戻る	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音	F1 の動作
Fn+F2	ボリュームを下げる	F2 の動作
Fn+F3	ボリュームを上げる	F3 の動作
Fn+F4	前を再生	F4 の動作

表 2. キーボードのショートカットのリスト (続き)

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+キー)
Fn+F5	再生/一時停止	F5 の動作
Fn+F6	次を再生	F6 の動作
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え	F7 の動作
Fn+F9	検索	F8 の動作
Fn+F10	明るさを上げる	F10 の動作
Fn+F11	プリントスクリーン	F11 の動作
Fn+F12	挿入	F12 の動作
Fn+Ctrl	アプリケーションメニューを開く	--

技術仕様

メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- システム情報
- プロセッサ
- メモリ
- ストレージ
- システム基板のコネクタ
- メディアカードリーダー
- オーディオ
- ビデオカード
- カメラ
- ポートとコネクタ
- ワイヤレス
- ディスプレイ
- キーボード
- タッチパッド
- オペレーティングシステム
- バッテリー
- 電源アダプタ
- 寸法と重量
- コンピュータ環境
- セキュリティ
- セキュリティ ソフトウェア

システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	統合プロセッサ
チップセットバージョン	<ul style="list-style-type: none"> ● i7 8665U-v0 ● i5 8365U-v0 ● i5 8265U-w0 ● i3 8145U-w0
DRAM バス幅	64 ビット
DRAM バス速度	LPDDR3 2133
フラッシュ EPROM	SPI BIOS ROM : 32 MB
PCIe バス	GEN 3.0、8 GHz
CPU 周波数	<ul style="list-style-type: none"> ● インテル Core i7 8665U の場合 : 1.9 ~ 4.6 GHz ● インテル Core i5 8365U の場合 : 1.6 ~ 4.1 GHz

表 3. システム情報 (続き)

特長	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> ● インテル Core i5 8265U の場合 : 1.6 - 3.9 GHz ● インテル Core i3 8145U の場合 : 2.1 ~ 3.9 GHz

プロセッサ

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 4. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス
インテル Core プロセッサ i3-8145U	インテル UHD グラフィックス 620 (内蔵)
インテル Core プロセッサ i5-8365U	インテル UHD グラフィックス 620 (内蔵)
インテル Core プロセッサ i5-8265U	インテル UHD グラフィックス 620 (内蔵)
インテル Core プロセッサ i7-8665U	インテル UHD グラフィックス 620 (内蔵)

メモリ

表 5. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	16 GB
スロット数	システム基板にはんだ付け
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 GB ● 8 GB ● 16 GB
タイプ	LPDDR3
速度	2133 MHz

ストレージ

表 6. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	セキュリティオプション	容量
SSD (ソリッドステートドライブ) (1)	M.2 2230	PCIe 3 x4 NVME、最大 32 Gbps	SED	最大 1TB

システム基板のコネクタ

表 7. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	<ul style="list-style-type: none">• スロット 2 3042 ソケット 2 キー B• スロット 3 2230 ソケット 3 キー M• スロット 1 2230 ソケット 1 キー E

メディアカードリーダー

表 8. メディアカードリーダーの仕様

機能	仕様
タイプ	microSD カード
サポートされているカード	SD 4.0

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Realtek ALC3254-CG
タイプ	2 チャンネル ハイ デフィニション オーディオ
ステレオ変換	対応
スピーカー	対応
インターフェース	<ul style="list-style-type: none">• 内部インターフェース：ハイデフィニション オーディオ インターフェース• 外部インターフェース：ユニバーサル オーディオ ジャック はヘッドセット/ヘッドフォン/ライン出力/マイク/ライン 入力機能、デジタル アレイ マイクをサポート
アンプ内蔵スピーカー	対応
外付けボリューム コントロール	対応
スピーカー出力	<ul style="list-style-type: none">• 平均：2 W• ピーク：2.5 W
サブウーハー出力	非対応
マイク	対応

ビデオカード

表 10. ビデオカードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 620	UMA LPDDR3	<ul style="list-style-type: none"> インテル Core i7-8665U CPU インテル Core i5-8365U CPU インテル Core i5-8265U CPU インテル Core i3-8145U CPU 	内蔵	共有システムメモリ	HDMI/DisplayPort (Type-C 経由)	<ul style="list-style-type: none"> HDMI 1.4 - 4096 x 2304 (24 Hz) DisplayPort - 4096 x 2304 (60 Hz)

カメラ

表 11. カメラの仕様

特長	仕様
解像度	前面カメラ： <ul style="list-style-type: none"> 静止画像：5 メガピクセル 動画：1080p (30 fps) World Facing カメラ <ul style="list-style-type: none"> 静止画像：8 メガピクセル 動画：1080p (30 fps) フラッシュ：なし LED：なし 赤外線カメラ <ul style="list-style-type: none"> 静止画像：5 メガピクセル 動画：340 x 340 (30 fps において)
対角視野角	<ul style="list-style-type: none"> 前面カメラ：77.3 度 World Facing カメラ：88.9 度 赤外線カメラ：86.7 度

ポートとコネクタ

表 12. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリカードリーダー	microSD 4.0 : 最大 128 GB
スマートカードリーダー	オプション
USB	<ul style="list-style-type: none"> 2 x USB Type-C (Thunderbolt 3/Power Delivery/DisplayPort 搭載) 1 x USB Type-A 3.1 Gen 1 (PowerShare 対応)
セキュリティ	Noble Wedge ロックスロット
メディア	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルオーディオジャック

表 12. ポートとコネクタ (続き)

特長	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x 内蔵デジタルマイク—上部端にエッジファイアリング (横型) ● 2つの分離型ステレオスピーカー ● 前面カメラ—5 MP ● World Facing カメラ—8 MP ● 1 x カメラ アクティビティ LED ● ALS (周囲光センサー)
SIM カードリーダー	1 x Nano SIM カードリーダー

ワイヤレス

表 13. ワイヤレスの仕様

ワイヤレスオプション
インテル デュアルバンド Wireless-AC 9560 802.11AC 2x2 Wi-Fi + Bluetooth 5
Qualcomm QCA61x4A 802.11ac MU-MIMO デュアルバンド (2x2) Wi-Fi + Bluetooth 4.2 LTE M.2 ワイヤレス カード
Qualcomm Snapdragon X20 Global Gigabit LTE

ディスプレイ

表 14. ディスプレイの仕様

特長	仕様
タイプ	12.3 インチ フル HD WUXGA (1920 x 1280) AR+AS タッチスクリーン
高さ (アクティブ エリア)	172.8 mm (6.80 インチ)
幅 (アクティブ エリア)	259.2 mm (10.20 インチ)
対角線	312.42 mm (12.3 インチ)
明るさ/輝度 (標準)	400 ニット
メガピクセル	2.46
PPI (1 インチあたりの画素数)	187.6
コントラスト比 (最小)	1000 : 1
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 (最小)	89/89 度
垂直可視角度 (最小)	89/89 度
ピクセルピッチ	0.135 mm
電力消費量 (最大)	3.24 W

キーボード

表 15. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none">● 82 (米国)● 83 (英国)● 86 (日本)
サイズ	フルサイズ <ul style="list-style-type: none">● X=270.7 mm (10.65 インチ)● Y=104.95 mm (4.13 インチ)
バックライト付きキーボード	有
レイアウト	Folio

タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	<ul style="list-style-type: none">● 横 : 41.7+/-4.2 counts/mm● 縦 : 39.8+/-4.0 counts/mm
寸法	<ul style="list-style-type: none">● 幅 : 55 mm (2.16 インチ)● 高さ : 100 mm (3.93 インチ)
マルチタッチ	有

オペレーティングシステム

表 17. オペレーティングシステム

対応オペレーティングシステム	
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 10

バッテリー

表 18. バッテリーの仕様

特長	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none">● 38 WHr 2 セル バッテリー● 38 WHr LCL 2 セル バッテリー
寸法	<ol style="list-style-type: none">1. 38 WHr 2 セル バッテリー<ul style="list-style-type: none">● 長さ : 185 mm (7.28 インチ)● 幅 : 81.2 mm (3.19 インチ)● 高さ : 4.8 mm (0.18 インチ)● 重量 : 160 g (0.35 ポンド)2. 38 WHr LCL 2 セル バッテリー

表 18. バッテリーの仕様 (続き)

特長	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> ● 長さ : 185 mm (7.28 インチ) ● 幅 : 81.2 mm (3.19 インチ) ● 高さ : 4.8 mm (0.18 インチ) ● 重量 : 160 g (0.35 ポンド)
重量 (最大)	160 g (0.35 ポンド)
電圧	<ul style="list-style-type: none"> ● 38 WHr 2 セル バッテリー — 8.9 V ● 38 WHr LCL 2 セル バッテリー — 8.9 V
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	<ul style="list-style-type: none"> ● 65 W アダプタの場合 <ul style="list-style-type: none"> ○ 0°C ~ 15°C — 4 時間 ○ 16°C ~ 45°C — 2 時間 ○ 46°C ~ 60°C — 3 時間 ● 45 W アダプタの場合 <ul style="list-style-type: none"> ○ 0°C ~ 15°C — 4 時間 ○ 16°C ~ 60°C — 2 時間
動作時間	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。
温度範囲 : 動作時	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電時 : 0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F) ● 放電時 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F)
温度範囲 : 保管時	-20°C ~ 65°C (-4°F ~ 149°F)
コイン型電池	無

電源アダプタ

表 19. 電源アダプタの仕様

機能	仕様		
	45 W (USB Type-C)	SFF 45 W (USB Type-C)	65 W (USB Type-C)
タイプ	45 W (USB Type-C)	SFF 45 W (USB Type-C)	65 W (USB Type-C)
入力電圧	AC 100 ~ 240 V	AC 100 ~ 240 V	AC 100 ~ 240 V
入力電流 (最大)	1.3 A	1.3 A	1.7 A
アダプタのサイズ	22 x 55 x 87 mm (0.87 x 2.17 x 3.42 インチ)	22 x 55 x 60 mm (0.87 x 2.17 x 2.36 インチ)	22 x 66 x 99 mm (0.87 x 2.6 x 3.9 インチ)
重量	0.16 kg (0.35 ポンド)	0.17 kg (0.37 ポンド)	0.216 kg (0.476 ポンド)
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz
出力電流	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 V/2.25 A (連続) ● 15 V/3 A (連続) ● 9.0 V/3 A (連続) ● 5.0 V/3 A (連続) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 V/2.25 A (連続) ● 15 V/3 A (連続) ● 9.0 V/3 A (連続) ● 5.0 V/3 A (連続) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 V/3.25 A (連続) ● 15 V/3 A (連続) ● 9.0 V/3 A (連続) ● 5.0 V/3 A (連続)
定格出力電圧	20 VDC/15 VDC/9 VDC/5 VDC	20 VDC/15 VDC/9 VDC/5 VDC	20 VDC/15 VDC/9 VDC/5 VDC
温度範囲 (動作時)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)

表 19. 電源アダプタの仕様 (続き)

機能	仕様		
ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

寸法と重量

表 20. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	前面の高さ : 9.35 mm (0.37 インチ) 背面の高さ : 9.35 mm (0.37 インチ)
幅	292 mm (11.5 インチ)
奥行き	208.8 mm (8.23 インチ)
重量	851g (1.87 ポンド) より

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 21. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10 ~ 90 % (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 26°C	5 ~ 95 % (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 33°C
高度 (最大)	0 m ~ 3,048 m (0 ~ 10,000 フィート)	0 m ~ 10,668 m (0 ~ 35,000 フィート)

セキュリティ

表 22. セキュリティ

特長	仕様
Dell USH/CV3.0 (代替として USH/CV2.0)	<ul style="list-style-type: none"> ● 接触型スマートカードリーダー ● NFC
指紋認証リーダー	マッチオンチップソリューション (代替として USH/CV ソリューション)
分離型 TPM 2.0	対応
Windows Hello 4.0 対応のフェイス IR カメラ	対応
Noble ロック	対応

セキュリティ ソフトウェア

表 23. セキュリティ ソフトウェア

特長	仕様
Dell ControlVault 3.0/DDP	対応
インテル セキュリティ ソリューション <ul style="list-style-type: none"> ● インテル ID プロテクション テクノロジー (IPT) ● インテル プラットフォーム トラスト テクノロジー (PTT) —中国向け ● インテル BIOS ガード ● インテル ソフトウェア ガード (SGX) ● インテル トラストッド エグゼキューション テクノロジー (TXT) 	対応
ソフトウェアの機能計画/サイクル リストに基づく Latitude セキュリティ ソフトウェア	非接触型スマート カードは Broadcom により有効化されます。BRCM は、CDF を介してコンパニオン デバイス アプリケーションを作成します。これにより、顧客は非接触型スマート カードを使用してオペレーティング システムを認証し、Windows Hello と連携できます。
D-Pedigree—セキュアなサプライ チェーン機能	BIOS 対応

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [Windows ドライバのダウンロード](#)

Windows ドライバのダウンロード

手順

1. ノートパソコンの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、ノートパソコンのサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いのノートパソコン用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでは、タブレットデスクトップノートブックハードウェアの管理と BIOS レベル オプションの指定を行うことができます。システムセットアップから実行できる操作は次のとおりです。

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。

トピック：

- [BIOS の概要](#)
- [BIOS セットアッププログラムの起動](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ワンタイムブートメニュー](#)
- [キーボードを使用しない BIOS 設定](#)
- [セットアップユーティリティのオプション](#)
- [BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)
- [BIOS \(システムセットアップ\) パスワードとシステムパスワードのクリア](#)

BIOS の概要

BIOS はコンピュータのオペレーティングシステムとハードディスク、ビデオアダプタ、キーボード、マウス、プリンタなどの取り付けられているデバイス間のデータフローを管理します。

BIOS セットアッププログラムの起動

手順

1. PC の電源をオンにします。
2. 直ちに F2 を押して、BIOS セットアッププログラムを入力します。

メモ: キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、PC の電源を切り、操作をやり直してください。

ナビゲーションキー

メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 24. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。

表 24. ナビゲーションキー（続き）

キー	ナビゲーション
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 ① メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ワンタイムブートメニュー

[ワンタイムブートメニュー]を入力するには、PCの電源を入れて、すぐに F12 を押します。

① | **メモ:** PC がオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ (利用可能な場合)
① | **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- 診断

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

キーボードを使用しない BIOS 設定

手順

1. 電源ボタンを押して、タブレットの電源を入れます。
2. Dell のロゴが画面に表示されたら、**ボリュームアップ** ボタンを長押しします。
3. **F12** 起動選択メニューが表示されたら、**ボリュームアップ** ボタンで **BIOS Setup (BIOS セットアップ)** を選択します。
4. **ボリュームダウン** ボタンを押して、BIOS セットアッププログラムを起動します。

セットアップユーティリティのオプション

① | **メモ:** お使いのタブレットコンピューターノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 25. 一般オプション

オプション	説明
[システム情報]	このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 オプションは次のとおりです。 • [システム情報]

表 25. 一般オプション (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [メモリ構成] • [プロセッサ情報] • [デバイス情報]
[Battery Information]	バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプタの種類を表示します。
[Boot Sequence (起動順序)]	<p>コンピュータによるオペレーティングシステムの検索順序を変更できます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Windows Boot Manager] - [Windows Boot Manager] オプションを有効または無効にします。 • [Boot List Option] - ブート オプションを追加、削除、表示することができます。
[詳細起動オプション]	[UEFI Network Stack] オプションを有効または無効にします。
[UEFI Boot Path Security]	<p>UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Always, Except Internal HDD] - デフォルト • [Always (常に)] • [なし]
[Date/Time]	日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。

システム設定

表 26. システム構成オプション

オプション	説明
[SATA Operation]	<p>統合 SATA ハードドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled (無効)] • [AHCI] • [RAID On] — デフォルトでは、[RAID On] オプションは有効に設定されています。 <p>① メモ: RAID モードをサポートするには SATA を設定します。</p>
[Drives]	<p>各種オンボード ドライブを有効または無効に設定することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [SATA-0] • [SATA-1] • [M.2 PCIe SSD-0] • [M.2 PCIe SSD-1] <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p>

表 26. システム構成オプション (続き)

オプション	説明
[SMART Reporting]	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis And Reporting Technology) 仕様の一部です。デフォルトでは、[Enable SMART Reporting] オプションは無効に設定されています。</p>
[USB 設定]	<p>内蔵 USB 設定の有効/無効を切り替えることができます。 オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)] ● [Enable External USB Port] <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p> <p>① メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
[Thunderbolt アダプタ設定]	<p>オペレーティングシステムで、Thunderbolt アダプターセキュリティ設定を行うことができます オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Thunderbolt] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ● [Enable Thunderbolt Support] ● [Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot Modules] ● [No Security (セキュリティなし)] ● [User Authorization] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ● [Secure Connect (セキュアな接続)] ● [Display Port and USB Only]
[Thunderbolt Auto Switch]	<p>Thunderbolt コントローラーが PCIe デバイス エnumeration に使用する方式を設定できます。デフォルトでは、[Auto switch] オプションは有効に設定されています。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Native Enumeration] ● [BIOS Assist Enumeration]
[オーディオ]	<p>内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。デフォルトでは Enable Audio(オーディオを有効にする) オプションが選択されています。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Enable Microphone (マイクを有効にする)] ● [Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする)] <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p>
[指紋リーダー]	<p>指紋認証リーダー デバイスを有効または無効にします。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Fingerprint Reader Device ● Enable Finger Reader Single Sign On <p>デフォルトでは、両方のオプションが有効に設定されています。</p>
[Miscellaneous devices]	<p>次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Enable Camera]

表 26. システム構成オプション (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [Enable Hard Drive Free Fall Protection (ハードドライブ落下保護を有効にする)] • [WiFi Radio] • [Enable Secure Digital(SD) Card] デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。

ビデオ画面のオプション

表 27. ビデオ

オプション	説明
[LCD Brightness]	電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。デフォルトでは、バッテリーの輝度は 50% で、AC の輝度は 100% です。

セキュリティ

表 28. セキュリティ

オプション	説明
[Admin Password]	管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter the old password:] • [Enter the new password:] • [Confirm new password:] パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。 ⓘ メモ: デフォルトでは、[Enter the old password] フィールドは [Not set] としてマークされています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。
[System Password]	システムパスワードを設定、変更、または削除できます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter the old password:] • [Enter the new password:] • [Confirm new password:] パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。 ⓘ メモ: デフォルトでは、[Enter the old password] フィールドは [Not set] としてマークされています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。
[Strong Password]	常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Strong Password] このオプションはデフォルトでは無効になっています。
[Password Configuration]	パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。
[Password Bypass]	これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力をバイパスすることができます。

表 28. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Reboot bypass (再起動のスキップ)]
[Password Change]	<p>Administrator パスワードが設定されている場合、システムパスワードを変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Allow Non-Admin Password Changes] <p>このオプションはデフォルトで有効になっています。</p>
[Non-Admin Setup Changes]	<p>Administrator パスワードが設定されている場合に、セットアップ オプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Allow Wireless Switch Changes] <p>このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
[UEFI Capsule Firmware Updates]	<p>システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable UEFI Capsule Firmware Updates] <p>このオプションはデフォルトで有効になっています。</p>
[TPM 2.0 Security]	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [TPM On] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)] • [有効なコマンドの PPI をスキップ] • [PPI Bypass for Disable Commands] • [PPI Bypass for Clear Command] • [Attestation Enable] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Key Storage Enable] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [SHA-256] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[Absolute®]	<p>このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定することができます。</p>
[Admin Setup Lockout]	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)] <p>このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
[Master Password Lockout]	<p>マスター パスワードのサポートを無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Master Password Lockout] <p>このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p> <p> メモ: この設定を変更する前には、ハード ディスク パスワードをクリアする必要があります。</p>
[SMM Security Mitigation]	<p>UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [SMM Security Mitigation] <p>このオプションはデフォルトで有効になっています。</p>

Secure Boot (安全起動)

表 29. 安全起動

オプション	説明
[Secure Boot Enable]	Secure Boot 機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> [Secure Boot Enable] — デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。
[Secure Boot Mode]	Secure Boot 操作モードを変更すると、Secure Boot の動作が変更され、UEFI ドライバ署名の評価ができるようになります。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> [Deployed Mode] — デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。 [Audit Mode]
[Expert Key Management]	Expert Key Management を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> [Enable Custom Mode] — デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。 Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> [PK] — デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。 [KEK] [db] [dbx]

インテルソフトウェア ガード エクステンションズのオプション

表 30. インテルソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
[Intel SGX Enable]	このフィールドでは、メイン オペレーティング システムのコンテキストでコードの実行や、機密情報の保存を行うためのセキュアな環境を設定できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> [無効] [有効] [Software controlled](デフォルト)
[エンクレープメモリ-サイズ]	このオプションで、[SGX エンクレープ リザーブ メモリー サイズ]を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> [32 MB] [64 MB] [128 MB](デフォルト)

パフォーマンス

表 31. パフォーマンス

オプション	説明
[マルチコア サポート]	このフィールドでは、プロセッサで1個のコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。 <ul style="list-style-type: none"> • [All] — デフォルト • [1] • [2] • [3]
[インテル SpeedStep]	プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [インテル SpeedStep を有効にする] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[C ステータス コントロール]	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [C States] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[インテル®ターボ・ブースト™]	このオプションでは、プロセッサのインテル® TurboBoost™ モードを有効または無効にします。
[ハイパースレッド コントロール]	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [Enabled] — デフォルト

電源管理

表 32. 電源管理

オプション	説明
[Lid スイッチ]	Lid スイッチを無効にすることができます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Lid Switch] — デフォルトで有効 • [Power On Lid Open] - デフォルトで有効
[AC 動作]	AC アダプターが接続されると PC の電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Wake on AC (ウェイクオン AC)] このオプションはデフォルトでは無効になっています。
[インテル Speed Shift テクノロジーを有効にする]	[Intel Speed Shift Technology] オプションを有効または無効にすることができます。このオプションはデフォルトで有効になっています。
[自動電源オン時刻]	PC を自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled] — デフォルトで有効

表 32. 電源管理（続き）

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [Every Day (毎日)] • [Weekdays (平日)] • [Select Days (選択した日)]
[USB ウェイク サポート]	USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。デフォルトでは、[Enable USB Wake Support] オプションは無効に設定されています。
[高度なバッテリー充電の設定]	このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすると、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。デフォルトでは、[Enable Advanced Battery Charge Mode] オプションは無効に設定されています。
[プライマリー バッテリー 充電設定]	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Adaptive] — デフォルトで有効 • [Standard (標準)] • [Express Charge] • [Primarily AC use (主に AC を使用)] • [カスタム] <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p> メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。</p>
[Type-C コネクタの電力]	<p>Type-C コネクタから得られる最大電力を設定することができます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [7.5 Watts] - デフォルトで有効 • 15 ワット

POST 動作

表 33. POST 動作

オプション	説明
[Adapter Warnings]	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Adapter Warnings] — デフォルトで有効
[Keypad (Embedded) (キーパッド (内蔵))]	<p>内蔵キーボードに組み込まれているキーボードを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fn Key Only] — デフォルトで有効 • [By Numlock]
[Numlock Enable]	<p>システムの起動時に Numlock 機能の有効、無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Numlock] — デフォルトで有効
[Fn Lock Options]	<p>ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。デフォルトでは、[Fn Lock] オプションは有効に設定されています。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ロックモード無効 / 標準] • [Lock Mode Enable/Secondary] - デフォルトで有効
[Fastboot]	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。

表 33. POST 動作 (続き)

オプション	説明
	次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Minimal] — デフォルトで有効 • [Thorough (完全)] • [自動]
[Extended BIOS POST Time]	プレブート遅延を追加で作成できます。 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [0 seconds] — デフォルトで有効 • [5 秒] • [10 秒]
[Full Screen logo]	お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーン ロゴを表示するかどうかを指定します。デフォルトでは、[Enable Full Screen Logo] オプションは無効に設定されています。
[Warnings and Errors]	停止/プロンプト/ユーザー入力の待機、警告の検出時には続行するがエラー時には一時停止、POST 処理中に警告またはエラーが検出されても続行、のいずれかのオプションを選択できます。 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Prompt on Warnings and Errors] — デフォルトで有効 • [Continue on Warnings (警告検出でも続行)] • [Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)]

Virtualization Support (仮想化サポート)

表 34. 仮想化サポート

オプション	説明
[Virtualization]	このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。デフォルトでは、[Enable Intel Virtualization Technology] オプションが有効に設定されています。
[VT for Direct I/O]	ダイレクト I/O 用に、インテル仮想化テクノロジーが提供する追加のハードウェア機能を Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。デフォルトでは、[Enable VT for Direct I/O] オプションが有効に設定されています。

ワイヤレスオプション

表 35. ワイヤレス

オプション	説明
[Wireless Switch]	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [WLAN] • [Bluetooth®] すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
[Wireless Device Enable]	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [WLAN]

表 35. ワイヤレス (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> [Bluetooth®] すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス

表 36. メンテナンス

オプション	説明
[Service Tag]	コンピュータのサービスタグを表示します。
[Asset Tag]	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[BIOS Downgrade]	システム ファームウェアの以前のバージョンをフラッシュすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> [Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Data Wipe]	すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。 <ul style="list-style-type: none"> [Wipe on Next Boot] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[Bios Recovery]	[BIOS Recovery from Hard Drive] - デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。 ハード ディスク ドライブまたは外部 USB キーのリカバリ ファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。 [BIOS Auto-Recovery] - BIOS を自動的にリカバリできます。

システムログ

表 37. システムログ

オプション	説明
[BIOS events]	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
[Thermal Events]	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
[Power Events]	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

SupportAssist システムの解決策

表 38. SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
[Auto OS Recovery Threshold]	[Auto OS Recovery Threshold] セットアップ オプションでは、SupportAssist システム解決策コンソールおよび Dell OS Recovery Tool の自動起動フローを制御します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> [オフ] [1] [2] - デフォルトで有効

表 38. SupportAssist システムの解決策（続き）

オプション	説明
	• [3]
[SupportAssist OS Recovery]	SupportAssist OS リカバリを復元できます（デフォルトでは無効）。このオプションはデフォルトで有効になっています。

BIOS のアップデート

Windows での BIOS のアップデート

このタスクについて

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

手順

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. [製品名] をクリックします。[検索サポート] ボックスでお使いの PC のサービス タグを入力し、[検索] をクリックします。
メモ: サービス タグがない場合は、SupportAssist 機能を使用して、お使いの PC を自動で確認してください。製品 ID を使用するか、お使いの PC のモデルを手動で参照することもできます。
3. [Drivers & Downloads] (ドライバおよびダウンロード) をクリックします。[ドライバーの検索] を展開します。
4. お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
5. [カテゴリー] ドロップダウン リストで [BIOS] を選択します。
6. 最新の BIOS バージョンを選択して [ダウンロード] をクリックし、お使いの PC 用の BIOS ファイルをダウンロードします。
7. ダウンロードが完了したら、BIOS アップデート ファイルを保存したフォルダーを参照します。
8. BIOS アップデート ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。
詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 000124211 を参照してください。

Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート

Linux または Ubuntu がインストールされている PC のシステム BIOS をアップデートするには、www.dell.com/support にあるナレッジ ベース記事 000131486 を参照してください。

Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート

このタスクについて

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

手順

1. [Windows での BIOS のアップデート] にある手順 1~6 に従って、最新の BIOS セットアップ プログラム ファイルをダウンロードします。

2. 起動可能な USB ドライブを作成します。詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 000145519 を参照してください。
3. BIOS セットアップ プログラム ファイルを起動可能な USB ドライブにコピーします。
4. 起動可能な USB ドライブを BIOS のアップデートを必要とするコンピューターに接続します。
5. PC を再起動し、**F12** を押します。
6. **ワンタイムブートメニュー**から USB ドライブを選択します。
7. BIOS セットアップ プログラムのファイル名を入力し、**Enter** を押します。**BIOS アップデート ユーティリティ**が表示されます。
8. 画面の指示に従って BIOS のアップデートを完了します。

F12 ワンタイムブートメニューからの BIOS のアップデート

FAT32 USB ドライブにコピーされた BIOS update.exe ファイルを使用して PC の BIOS をアップデートし、F12 ワンタイムブートメニューから起動します。

このタスクについて

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

BIOS のアップデート

ブータブル USB ドライブを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、PC の F12 ワンタイムブートメニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製 PC にはこの機能があり、PC を F12 ワンタイムブートメニューで起動することにより、PC のブート オプションとして [BIOS フラッシュ アップデート] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

メモ: F12 ワンタイムブートメニューに [BIOS フラッシュ アップデート] オプションがある PC でのみ、この機能を使用できます。

ワンタイムブートメニューからのアップデート

F12 ワンタイムブートメニューから BIOS をアップデートするには、次のものがが必要です。

- FAT32 ファイルシステムにフォーマットされた USB ドライブ (キーはブータブルでなくてもよい)
- Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB ドライブの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- PC に接続された AC 電源アダプター
- BIOS をフラッシュする動作可能な PC バッテリー

F12 メニューから BIOS アップデートフラッシュプロセスを実行するには、次の手順を実行します。

注意: BIOS のアップデート プロセス中に PC の電源をオフにしないでください。PC の電源をオフにすると、PC が起動しない場合があります。

手順

1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB ドライブを PC の USB ポートに挿入します。
2. PC の電源をオンにして F12 を押し、ワンタイムブートメニューにアクセスした後、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート] を選択し、Enter を押します。フラッシュ BIOS メニューが表示されます。
3. [[ファイルからフラッシュ]] をクリックします。
4. 外部 USB デバイスを選択します。
5. ファイルを選択してフラッシュターゲット ファイルをダブルクリックした後、[送信] をクリックします。
6. [BIOS のアップデート] をクリックします。PC が再起動して、BIOS をフラッシュします。
7. BIOS のアップデートが完了すると、PC が再起動します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 39. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログインする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

 **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** PC をロックせずに放置すると、PC 上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが未設定の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは管理者パスワードを割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

手順

- [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で[セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
[セキュリティ]画面が表示されます。
- [システム/管理者パスワード]を選択し、[新しいパスワードを入力]フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 少なくとも 1 個の特殊文字: ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | }
 - 0~9 の数字。
 - A~Z の大文字。
 - a~z の小文字。
- 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- Esc を押し、ポップアップ メッセージの指示に従って変更を保存します。
- Y を押して変更を保存します。
PC が再起動されます。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

前提条件

既存のシステム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、[パスワード ステータス]が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

手順

1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で、[システム セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
System Security (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード]を選択し、既存のシステム パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
4. [セットアップ パスワード]を選択し、既存のセットアップ パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
① メモ: システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア

このタスクについて

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート (www.dell.com/contactdell) にお問い合わせください。

- ① メモ:** Windows またはアプリケーションのパスワードのリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

トピック：

- [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

前提条件

-  **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

このタスクについて

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. Dell.com/support にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国/地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。